


原発連事務局短信 第 1171 号 2022 年 3 月 26 日

原発問題全道連絡会 事務局発行 Tel:011-777-1060、e-mail:genpaturen@gmail.com

3・25 チェルノブイリデー

原発ゼロ！核ゴミNO！NO WAR！ロシアはウクライナから撤退せよ！、原発ゼロ基本法実現の法制定署名などを訴え

新型コロナまんえん防止等特別措置期間が終了したなか、道原発連は3月25日、JR札幌駅前
で3月のチェルノブイリデーを実施しました。季節も3月下旬、札幌駅前の雪もほとんど消えて、宣伝・署名行動にも取り組みやすくなりました。

「やめよう とめよう 原発」や「核ゴミ NO」「自然エネへ転換を」などのノボリを立て、「ロシアはウクライナから撤退せよ1」「原発ゼロ基本法を実現しよう」などの横断幕を掲げて、堀一原発連代表委員、三上友衛道労連議長、嶋田千津子道原水協事務局長らがマイクを握って訴えました。

泊原発は再稼働せず、廃炉にすべき。ロシアはウクライナから撤退すべき

堀一代表委員は、「泊原発は10年間再稼働を許していません。廃炉訴訟は5月末に判決を迎えます。原発が停止していても電力不足はありません。道民の過半数は、再稼働に反対です。再稼働せず廃炉にさせましょう」「ロシアが2月24日ウクライナを侵略を開始し、直後に36年前に大事故を起こしたチェルノブイリ原発を占拠し、職員・労働者を人質に取り大変危険な状態です。さらに3月4日にはウクライナ南部にあるヨーロッパで最大規模のザポロジ原発を攻撃、制圧、6日には東部ハリコフの核物質研究施設も攻撃、そのほか病院や学校、劇場、住宅街など無差別攻撃を繰り返しています。国連憲章にも国際人道法にも反する非道な戦争を続けています。原発が爆発事故を起こせば、ヨーロッパ全域、世界中に被害が及びます。断じて許すことはできません。ロシアのウクライナ侵略、原発攻撃、占領に抗議の声を上げましょう」と訴えました。

道警やじ排除訴訟勝訴！表現の自由の侵害は許されません！

次にマイクを握った三上友衛道労連議長は、原発、核ゴミ問題を訴える前に、3年前の2019年夏の参議院選挙で、自民党の安倍晋三元首相の街頭演説に参加した聴衆がヤジを飛ばしたら、警察官に取り囲まれ、その場から強引に排除された問題で裁判を起こした、いわゆる「道警やじ排除」訴訟の一審判決について報告、今日午前、札幌地裁で判決があり、「原告の表現の自由が、警察官によって侵害された」と明確な勝訴判決を勝ち取ったと報告、周りから歓迎の拍手が起きました。

ロシアによるウクライナの原発への攻撃は危険極まりない！絶対許せません！

嶋田千津子北海道原水協事務局長は、ロシアがウクライナを侵略しているが、こともあろうに原発を攻撃、占拠し、従業員を人質に取っているが、「危険極まりない」と怒りを込めて糾弾。力を合わせてロシアをウクライナから撤退させましょう。また、プーチン大統領は、ロシアが世界一の核保有国だと核兵器使用もありうるという態度をとっているが、とんでもないことです、絶対許せませんと指弾、さらに安倍晋三元首相や日本維新の会などが、日本もアメリカの核兵器を共有することも検討すべきだなどと言い始めていることに触れて、唯一の戦争被爆国の日本、非核3原則を掲げる日本にあるまじき態度だ、日本がやるべきは、核兵器禁止条約を批准し、核兵器のない世界、核兵器廃絶に向かって世界をリードすることです」と訴えました。

この日は「原発ゼロ基本法実現しよう」署名が8筆、知事宛の署名が7筆寄せられました。